

瑞穂市水道事業ビジョン

安全で安定した水をいつまでも！



令和3年3月

瑞 穂 市

瑞穂市水道事業ビジョンの策定にあたり

本市水道事業が目指す理想像

「安全で安定した水をいつまでも」を実現すべく、
目指す方向性を明らかにする瑞穂市水道事業ビジョン
を策定しました。



本市の水道事業は、自己水源である地下水を利用しながら、市政の発展、人口増加、市街地の拡大とともに、水需要に応えるための拡張事業を計画的に進め、市民の皆様に安全で安心な水道水を提供して参りました。

近年の水道事業を取り巻く社会情勢としましては、少子高齢化や人口減少の影響による料金収入の減少、老朽化した水道施設の更新需要の増大、東日本大震災の経験を踏まえた大規模災害への対応等、非常に厳しい事業環境の変化に直面することとなります。

このような水道事業を取り巻く環境の大きな変化や課題に対応するため、厚生労働省において平成25年3月に「新水道ビジョン」が策定され、水道事業関係者共通の政策目標と実現に向けた施策が示されました。また、平成30年12月には、水道法が改正され、官民連携や広域化など、水道事業を維持・継続していくための新たな選択肢も示されたところです。

本ビジョンでは、市民の皆様の大切なライフラインである水道を未来へ引き継いでいく使命の下、「安全」・「持続」・「強靱」の3つの観点からの基本方針を定め、6つの基本目標とSDGsにおける関連目標及び12の実施施策を設定し、経営の効率化を図りながら持続可能な水道事業経営を目指して参ります。

本ビジョンの策定にあたり、熱心なご審議と貴重なご意見を賜りました瑞穂市上下水道事業審議会委員の皆様を始め、ご協力を賜りました皆様に心から感謝を申し上げます。

今後とも、充実した水道サービスの提供のため、本ビジョンに掲げます目標の実現に向け精一杯取り組んで参りますので、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和3年3月

瑞穂市長

森 和之

目 次

第1章 瑞穂市水道事業ビジョン及び経営戦略の策定について	1
1.1 策定の趣旨と位置付け	1
1.2 水道事業ビジョンの策定手法	2
1.3 計画期間	2
第2章 瑞穂市水道事業の概要	3
2.1 瑞穂市の概要	3
2.2 水道事業の沿革	4
2.3 給水区域及び水道施設の位置	4
(1) 給水区域	4
(2) 水道施設の位置	4
(3) 水道施設の概要	6
(4) 管路の概要	12
2.4 水需要の動向	14
(1) 給水人口及び給水普及率	14
(2) 給水量及び有収水量	15
(3) 施設利用率	15
2.5 事業経営	16
(1) 組織体制の現況	16
(2) 料金体系	17
(3) 財政収支	18
(4) 資産及び企業債	19
第3章 瑞穂市水道事業の現状分析及び課題の整理	20
3.1 水質管理について	20
3.2 水源の管路について	21
3.3 経営計画について	22
3.4 有収率について	25
3.5 環境対策について	26
3.6 広域化について	27
3.7 人員体制について	28
3.8 住民への情報提供等について	28
3.9 施設の耐震化について	29
3.10 危機管理体制について	29

第4章 将来の水道事業の見通し	30
4.1 水需要の見通し	30
(1) 給水人口の予測	30
(2) 水需要の予測	31
4.2 アセットマネジメントによる更新需要の長期見通し	32
第5章 理想像の実現に向けて	34
5.1 基本理念と基本方針	34
5.2 基本目標	35
第6章 実施施策の達成に向けて	38
6.1 基本目標、課題及び実施施策	38
(1) 【安全】基本目標 1. 水質の適正管理	39
(2) 【安全】基本目標 2. 水源の適正化	39
(3) 【持続】基本目標 1. 経営基盤の強化	39
(4) 【持続】基本目標 2. 情報提供の拡充	40
(5) 【強靱】基本目標 1. 水道施設の耐震化	41
(6) 【強靱】基本目標 2. 危機管理体制の整備	41
6.2 目標値の設定	42
第7章 投資及び財政計画(瑞穂市水道事業経営戦略)	43
7.1 経営戦略について	43
(1) 経営戦略の基本理念	43
(2) 経営戦略の方針	43
7.2 投資計画	44
(1) 投資計画の重点項目	44
(2) 投資試算	46
7.3 財政計画	47
(1) 財政構成の考え方	47
(2) 収支計画	49
7.4 今後の取組	55
(1) 投資についての検討状況	55
(2) 財源についての検討状況	55
(3) 投資以外の経費についての検討状況	56
第8章 フォローアップ(進捗管理)	57
資料編	
用語解説	58